

段原トラボルト presents

【ザ ごっほ ばっは ゲーム】

プレイ人数：2 ～ 5 人 / セット内容：カード 56 枚（+ 予備 3 枚）

< ゲームの進め方 >

「5 分スタート！」と言いながら、カードを一人 5 枚ずつ配ります。残りは裏向きに積み上げて山にします。

配った人が山の一番上のカードを誰かの物真似をしながらめくり、横に起きます。

カードを配った人の左の人から順番に反時計回りの反対回り（時計回り）で、置かれているカードの背景と同じ色か同じ顔（表情）のカードを手持ちのカードの中から出していきます。

出せるカードがないときは山（富士山ではない）から 1 枚取ります（取ってすぐは出せません）。

途中、下書いてあるカードが出たら、それぞれの指示に従わなければなりません。

「お好きな色を選べますカード」(トランプ：A)

このカードは内側の色の時にさせて、次の色を指定することができます。

（より高度に楽しむ場合は、色と一緒に Mr. (太い方) か JT (細い方) を指定できるルールを追加してもいいです）

「ラッキー 7 カード」(トランプ：7)

このカードは何色の時にでも出せます。次の人は外側の色のカードを出してください。

（より高度に楽しむ場合は、Mr. (メガネの方) か JT (魚顔の方) を指定できるルールを追加してもいいです）

なお、「お好きな色を選べますカード」と「ラッキー 7 カード」は同じ顔（表情）扱いです。

「あなたはカードが出せませんカード」(トランプ：J)

次の順番の人は、カードが出せません。UNO でいうスキップです。

「2 枚カードを取って下さいカード」(トランプ：Q)

次の順番の人は、泣こうがわめこうが、否が応でもカードを 2 枚取って下さい。しかも 1 枚も出せません。

「カード交換だってよ!!カード」(トランプ：K)

このカードを出した人は、他の誰かとカードをまるっと交換することができます。交換したい人に右手中指を立て「交換じゃ～!!」と必ず喧嘩腰で宣言してください。交換しなくても良いです。なお、交換後の順番は特に変わりません。

「オールマイティーこんにちはカード」(トランプ：Joker)

このカードは、どのカードの時にでも出せて、次の色を指定することができます。また、「2 枚カードを取って下さいカード」や「カード交換だってよ!!カード」の嫌がらせも回避できます。「カード交換だってよ!!カード」で指名された人が交換されたくなければこのカードを出してください。甘んじて交換されても構いません。回避後も順番は変わりませんので、色だけ指定してあげてください。ただし、「あなたはカードが出せませんカード」が出された時だけは出すことができませんので、あっけなく順番を飛ばされてください。

手持ちのカードが 1 枚になったら「ピピピ」とタイマー音を自力で演出してください。

最後の一枚が出せなかったときは、少しもったいぶってから「延長です。」と言って、山から 1 枚取って下さい。

見事、最後のカードを出せたら「ごっほ ばっは～」と叫んでください。その人が勝者です。

2 位以降は決めても決めなくてもいいです（お好みでどうぞ）。

ただし、「オールマイティーこんにちはカード」ではあがれません。間違えてあがった場合は晩御飯ヌキです。

途中、山のカードがなくなった場合は急いで 2 個目のカードを注文し、首を長くして到着を待つか、

すでに出ているカードを切って、また山にして使ってください。いわゆる、「地球に優しいリサイクル」です。

< その他 >

なお、この商品はトランプとしてもご利用いただけます。トランプの遊び方は両親、友人、または総務省に聞いてください。

また、カード名がやたらと面倒くさいのでトランプの柄で話をしたほうが楽です。

このカードで電車は乗れません。そして、食べられません。おそらくカード破産もありません。

このカードに関する質問やルールに迷った時などは、段原トラボルトまでお問い合わせください。

段トラを知らない人と一緒にプレイするときは、段トラの宣伝も一緒にしてください。

<細かいルール説明 & 追記>

発売後に問い合わせがあったルールに関する詳細な説明や追記、その他思いついたコトを記していきます。
時々更新いたしますので、ご確認下さい。

ゲームスタート時に山からめくったカードが指示カード（A.7.J.Q.K.Joker）だった場合のルール

基本的には指示に従ってください。「ラッキー7 カード」の時には外側の色を出してください。

「あなたはカードが出せませんカード」の時には順番を飛ばされてください。「2枚カードを取って下さいカード」の時には2枚カードを取って下さい。ただし、「カード交換だってよ!!カード」に関してはカード交換を行わないことにします。色と絵柄にだけ縛られてください。また「オールマイティーこんにちはカード」の時にはカードを配った人が色を指定してください。そして「好きな色を選べますカード」に関しては、この時に限り「内側の色」に縛られてください。

このルールを統一の基本ルールにしたいと思いますが、複雑だと思われるようでしたら、1枚目の指示カードは効力なし（色と絵柄だけ有効）とするのもよいでしょう。ただ、その場合でも「Joker」に関しては、配った人が色を指定することになると思います。

二人で遊ぶときの特別ルール

二人でプレイするときの特別ルールとして、最後の1枚になる際（「ピピピ」と宣言するとき）に「好きな色を選べますカード」及び「オールマイティーこんにちはカード」を出す場合には、最後に持っているカードの色を指定できないことにします。その時点でほぼ勝ちが決まってしまう、なんとなく「ずるい」気がしますので、必ず違う色を指定して、絵柄が同じになることを願ってください。3人以上でプレイするときにはこのルールは適用されません。

「ラッキー7 カード」でのあがりについて

このゲームでは「オールマイティーこんにちはカード」でのあがりはダメとしてありますが、似たような「ラッキー7 カード」でのあがりはどうなのだ!?という問いがございました。公式ルールでは「ラッキー7 カード」でのあがりは「アリ」とします。

「オールマイティーこんにちはカード」は、「J」を除く）指示カードの時にでも出すことができますので、ルールを厳しくいたしますが、「ラッキー7 カード」では、それらを防御することができないので、取り扱いが異なります。

その他、各種の特別ルール・ローカルルールについて

ご家庭で、また仲間内でプレイする際に、各種の特別ルールやローカルルールを導入することは禁止しません。

やっている内に飽きてくることもあるでしょうから、そういう時にはローカルルールの導入も一つの楽しみ方だと思います。

ただローカルルールを作ったときには、逆にみなさんに教えてあげてくれることを義務付けたいと思います！！

いずれ「ローカルルール集」的なページを設けますので、新しいルールができましたら、段原トラボルタまで教えてください。楽しいことはみんなで共有しましょう～。